

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年8月5日
【四半期会計期間】	第83期第1四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	橋本総業ホールディングス株式会社
【英訳名】	HASHIMOTO SOGYO HOLDINGS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 橋本 政昭
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋小伝馬町9番9号
【電話番号】	03 - 3665 - 9000
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員 財務部長 佐々木 地平
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋小伝馬町9番9号
【電話番号】	03 - 3665 - 9000
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員 財務部長 佐々木 地平
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第82期 第1四半期 連結累計期間	第83期 第1四半期 連結累計期間	第82期
会計期間	自2018年 4月1日 至2018年 6月30日	自2019年 4月1日 至2019年 6月30日	自2018年 4月1日 至2019年 3月31日
売上高 (百万円)	29,534	30,921	132,944
経常利益 (百万円)	374	529	2,735
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	286	345	1,803
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	355	298	1,627
純資産額 (百万円)	19,401	20,652	20,429
総資産額 (百万円)	59,330	66,597	62,983
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	27.94	34.03	176.49
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	27.86	33.91	175.95
自己資本比率 (%)	32.6	31.0	32.4

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期(当期)純利益金額」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」を算出しております。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は、次のとおりであります。

従来持分法非適用非連結子会社であった株式会社ムラバヤシは、重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の建設業界は、民間住宅投資は、持家・貸家・分譲全てで着工減が予想され、若干のマイナスで推移すると見込まれます。また民間非住宅投資についても、前年比若干のマイナスで推移が予想されます。一方、公共投資は、プラスで推移し、業界全体として若干のプラスの中で推移すると予想されます。

	2019年度見通し		内 訳		
	名目 投資額 (兆円)	対前期 増減率 (%)			
建設投資(新設)	57.9	2.1	【住宅】 ↘ (△0.9%)	【非住宅】 ↘ (△0.1%)	【政府】 ↗ (6.5%)
民間住宅	16.0	△0.9	【持家】 ↘ (△2.8%)	【貸家】 ↘ (△3.0%)	【分譲】 ↘ (△2.3%)
民間非住宅	17.5	△1.0	【事務所】 → (0.0%)	【工場】 ↗ (1.0%)	【土木】 → (0.0%)
政府	24.4	6.5	【建築】 ↗ (8.5%)	【土木】 ↗ (6.2%)	
リフォーム(既築)	13.7	5.0	【住宅】 ↗ (2.3%)	【非住宅】 ↗ (4.9%)	
計(新設+既築)	71.6	2.5	民間住宅 ↘	民間非住宅 ↘	政府 ↗

(国土交通省、建設経済研究所資料より当社推定)

このような経済状況のもと、当第1四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下の通りとなりました。

#### 財政状態

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、3,614百万円増加(+5.7%)し、66,597百万円となりました。これは主に、電子記録債権の増加等によるものです。負債合計は、前連結会計年度末に比べて、3,391百万円増加(+8.0%)し、45,945百万円となりました。これは主に短期借入金の増加等によるものです。純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、223百万円増加(+1.1%)し、20,652百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によるものです。

#### 経営成績

連結ベースの売上高は30,921百万円(前年同四半期比+4.7%)、売上総利益は3,310百万円(同+8.7%)となりました。販売費及び一般管理費は2,878百万円(同+4.3%)で、営業利益は431百万円(同+51.8%)、営業外損益は98百万円(同+8.6%)計上でき、経常利益は529百万円(同+41.3%)となりました。その結果親会社株主に帰属する四半期純利益は345百万円(同+20.8%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### a. 管材類

前年同四半期と比較して売上高及びセグメント利益は、それぞれ158百万円(+1.6%)、54百万円(+4.7%)増加しました。

#### b. 衛生陶器・金具類

前年同四半期と比較して売上高及びセグメント利益は、それぞれ313百万円(+3.8%)、119百万円(+14.0%)増加しました。

#### c. 住宅設備機器類

前年同四半期と比較して売上高は、1百万円(+0.0%)増加し、セグメント利益は、1百万円(0.3%)減少しました。

#### d. 空調・ポンプ

前年同四半期と比較して売上高及びセグメント利益は、それぞれ729百万円(+11.9%)、28百万円(+6.0%)増加しました。

## (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (3) 研究開発活動

記載すべき事項はありません。

## (4) 経営成績に重要な影響を与える要因

当社グループと致しましては、「エコエネルギー」「中古リフォーム」「健康・快適」「安全・安心」「地域活性化」「グローバル化」「IT化」といった「7つの分野」を中心に、今後とも積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

また増分活動として「3つのトータル」「3つのチームワーク」「3つの進化」を具体的に取り組んでまいります。

そして、中期的な経営戦略では以下の基本戦略に具体的に取り組んでまいります。

## 1. 3つのフルの追求 - 成長への取組み

- フルカバー - (どこでも) 県別営業体制で全国需要に対応
- フルライン - (何でも) お客様が望む商品は何でもワンストップで対応
- フル機能 - (どんなことでも) 基本7機能、工程9機能、ソリューション9機能の充実

## 2. みらい活動 - 業界最大、最良のネットワークへの取組み

- みらい会 - (みんなの会) 4位1体で県別(支店別)に展開
- みらい市 - (みんなの市) みらい会会員相互の商売の場作り
- みらいサービス - (みんなのサービス) いつでも、どこでも、何でもわかり手配できる

## 3. 進化活動 - 生産性向上への取組み

- しくみ作り - (みらいプラン) 商流 - 一貫化、物流 - 共同化、情報 - 共有化
- 人作り - (みらいアカデミー) 業界プロの人材育成(資格、基本、商材)
- しかけ作り - (みらいステージ) 5S、見える化、チーム活動で品質向上

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	35,000,000
計	35,000,000

## 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月5日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,646,526	10,646,526	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100 株であります。
計	10,646,526	10,646,526	-	-

## (2)【新株予約権等の状況】

## 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

## 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年4月1日 (注)	967,866	10,646,526	-	542	-	434

(注) 2019年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の株式分割を行ったことによるものであります。

## (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 430,200	627	(注)
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,226,300	92,263	-
単元未満株式	普通株式 22,160	-	-
発行済株式総数	9,678,660	-	-
総株主の議決権	-	92,890	-

- (注) 1. 資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式62,730株が含まれております。  
2. 2019年4月1日付で、普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。株式数、議決権の数につきましては、当該株式分割前の株式数、議決権の数を記載しております。

## 【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
橋本総業ホールディングス株式会社	東京都中央区日本橋小伝馬町9-9	367,500	62,700	430,200	4.44
計	-	367,500	62,700	430,200	4.44

- (注) 1. 他人名義で所有している理由等

所有理由	名義人の氏名又は名称	名義人の住所
「株式給付信託(J-E S O P)」制度の信託財産として拠出	資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	東京都中央区晴海1丁目8-12

2. 2019年4月1日付で、普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っておりますが、自己株式等に記載している事項は、当該株式分割前の株式数を記載しております。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,494	3,299
受取手形及び売掛金	24,798	24,725
電子記録債権	3,768	6,311
有価証券	401	400
商品	7,221	8,258
未成工事支出金	283	468
未収還付法人税等	398	415
その他	1,585	1,601
貸倒引当金	32	36
流動資産合計	41,918	45,445
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	5,252	5,438
減価償却累計額	3,121	3,264
建物及び構築物(純額)	2,130	2,174
機械装置及び運搬具	186	186
減価償却累計額	125	128
機械装置及び運搬具(純額)	60	58
土地	7,606	7,710
建設仮勘定	-	6
その他	790	810
減価償却累計額	632	651
その他(純額)	158	159
有形固定資産合計	9,955	10,108
<b>無形固定資産</b>		
のれん	61	55
その他	176	169
無形固定資産合計	237	225
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	6,153	6,201
長期貸付金	479	452
破産更生債権等	1	1
保険積立金	3,484	3,364
敷金及び保証金	352	364
退職給付に係る資産	6	26
繰延税金資産	230	229
その他	217	231
貸倒引当金	54	54
投資その他の資産合計	10,871	10,818
固定資産合計	21,064	21,151
資産合計	62,983	66,597

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,357	17,192
電子記録債務	11,663	10,586
短期借入金	1,855	9,145
1年内返済予定の長期借入金	1,900	1,757
未払法人税等	519	203
未成工事受入金	157	366
預り金	139	250
賞与引当金	469	247
その他	791	674
流動負債合計	36,855	40,424
固定負債		
長期借入金	2,680	2,381
繰延税金負債	1,636	1,676
再評価に係る繰延税金負債	316	316
役員退職慰労引当金	30	70
退職給付に係る負債	110	141
預り保証金	681	685
その他	243	249
固定負債合計	5,698	5,520
負債合計	42,553	45,945
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	542	542
資本剰余金	447	447
利益剰余金	18,501	18,828
自己株式	437	496
株主資本合計	19,053	19,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,174	1,121
土地再評価差額金	315	315
退職給付に係る調整累計額	152	146
その他の包括利益累計額合計	1,338	1,291
新株予約権	37	39
純資産合計	20,429	20,652
負債純資産合計	62,983	66,597

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	29,534	30,921
売上原価	26,489	27,611
売上総利益	3,045	3,310
販売費及び一般管理費	2,761	2,878
営業利益	284	431
営業外収益		
受取利息	15	13
受取配当金	48	59
仕入割引	159	169
その他	27	30
営業外収益合計	250	272
営業外費用		
支払利息	7	8
手形売却損	8	7
売上割引	118	120
営業外手数料	19	22
その他	5	15
営業外費用合計	159	174
経常利益	374	529
特別利益		
固定資産売却益	21	-
投資有価証券売却益	16	-
特別利益合計	38	-
特別損失		
固定資産売却損	1	-
固定資産除却損	3	-
特別損失合計	5	-
税金等調整前四半期純利益	407	529
法人税等	121	184
四半期純利益	286	345
親会社株主に帰属する四半期純利益	286	345

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	286	345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	53
退職給付に係る調整額	6	6
その他の包括利益合計	69	46
四半期包括利益	355	298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	355	298

**【注記事項】**

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

従来持分法非適用非連結子会社であった株式会社ムラバヤシは、重要性が増したため当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (四半期連結貸借対照表関係)

## 1. 保証債務

連結会社以外の会社の仕入債務に対して、次のとおり連帯保証を行っております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
㈱福知商会	47百万円	54百万円
(注)茨城県中小企業再生支援協議会主導で再生中の㈱福知商会に対する支援の一環として、連帯保証を行っておりません。		

## 2. 受取手形割引高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形割引高	635百万円	297百万円
営業外受取手形割引高	141	12

## 3. 電子記録債権割引高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
電子記録債権割引高	1,905百万円	392百万円
営業外電子記録債権割引高	12	1

## 4. 手形債権流動化に伴う買戻義務額

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
	1,930百万円	1,930百万円

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	81百万円	78百万円
のれんの償却額	6	6

## (株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

## 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月9日 取締役会(注)	普通株式	167	18円00銭	2018年3月31日	2018年6月12日	利益剰余金

(注) 株式給付信託の導入に伴い、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式66,330株について、当社の自己株式とする会計処理を行っているため、普通株式に関する配当金の総額の計算より、1百万円を除いております。

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

## 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月10日 取締役会(注)	普通株式	203	22円00銭	2019年3月31日	2019年6月11日	利益剰余金

(注) 1. 株式給付信託の導入に伴い、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式62,730株について、当社の自己株式とする会計処理を行っているため、普通株式に関する配当金の総額の計算より、1百万円を除いております。

2. 2019年4月1日付で普通株式1株につき普通株式1.1株の割合で株式分割を行っておりますが、1株当たりの配当額は株式分割前の配当額を記載しております。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計
	管材類	衛生陶器・ 金具類	住宅設備 機器類	空調・ポンプ	計		
売上高	9,867	8,296	4,855	6,155	29,175	359	29,534
セグメント利益 (注)2	1,160	858	406	476	2,902	143	3,045

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流受託、情報システム、不動産賃貸及び軌道関係機器販売等の事業を含んでおります。また、セグメント別に把握することが困難な売上値引き(30百万円)を控除しております。

2. 販売費及び一般管理費をセグメント別に把握することが困難である為、セグメント利益は売上総利益であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,902
「その他」の区分の利益	143
販売費及び一般管理費	2,761
四半期連結財務諸表の営業利益	284

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計
	管材類	衛生陶器・ 金具類	住宅設備 機器類	空調・ポンプ	計		
売上高	10,025	8,610	4,857	6,885	30,378	542	30,921
セグメント利益 (注)2	1,215	978	405	504	3,103	206	3,310

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流受託、情報システム、不動産賃貸及び軌道関係機器販売等の事業を含んでおります。また、セグメント別に把握することが困難な売上値引き(27百万円)を控除しております。

2. 販売費及び一般管理費をセグメント別に把握することが困難である為、セグメント利益は売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額  
の主な内容(差異調整に関する事項)

(百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,103
「その他」の区分の利益	206
販売費及び一般管理費	2,878
四半期連結財務諸表の営業利益	431

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## ( 1株当たり情報 )

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
( 1 ) 1株当たり四半期純利益金額	27円94銭	34円03銭
( 算定上の基礎 )		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	286	345
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額(百万円)	286	345
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,237	10,157
( 2 ) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	27円86銭	33円91銭
( 算定上の基礎 )		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	29	34
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜 在株式で、前連結会計年度末から重要な変動が あったものの概要	-	-

(注) 1. 資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式を、「1株当たり四半期純利益金額」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前第1四半期連結累計期間72千株、当第1四半期連結累計期間69千株)。

2. 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算出しております。

## ( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

## 2【その他】

2019年5月10日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

(イ) 配当金の総額・・・・・・・・・・・・・・・・・・204百万円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・・・・・・・・・22円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・・・・・2019年6月11日

(注) 1. 2019年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

2. 配当金の総額には、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)に対する配当金1百万円を含んでおります。

3. 2019年4月1日付で普通株式1株につき普通株式1.1株の割合で株式分割を行っておりますが、1株当たりの配当額は株式分割前の配当額を記載しております。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月1日

橋本総業ホールディングス株式会社

取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中井 修 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 渡邊 崇 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている橋本総業ホールディングス株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、橋本総業ホールディングス株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。